

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

2020年10月26日公開

事業所名: エントランス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースの確保し、アクリル板やパーテーションを使って、ソーシャルディスタンスを保つようにしている	・あまり中を見たことがない(活動の様子) ・親は入れないのでわかりませんが子どもはもう少し広い方がいいという意見です (はい34、どちらともいえない6、いいえ0、わからない4)	ソーシャルディスタンスに気をつけて現状を維持する
	2 職員の適切な配置	スタッフ1名につき利用者2~3名の支援体制 スタッフ14名(正社員5名、非常勤スタッフ9名)	(はい36、どちらともいえない2、いいえ0、わからない6)	適正な配置を継続する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・バリアフリー化の工事は難しいが、所内は可能な限り障害の特性に応じた環境作りを心掛けている	・あまり中を見たことがない(活動の様子) (はい35、どちらともいえない2、いいえ0、わからない7)	子どもの活動の様子の見学については随時対応する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子どもが利用をした後は共有スペースの清掃と消毒	・あまり中を見たことがない(活動の様子) (はい37、どちらともいえない2、いいえ0、わからない5)	共有スペースのこまめな消毒は引き続き取り組む 壁面に子供たちの作品を飾り、室内の明るい雰囲気づくりに心掛ける
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月1回正社員MTを実施し、子どもの様子や担当業務の進捗を報告、共有		引き続きスタッフ間で情報を共有する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・外部の評価は現時点では実施なし		外部による評価を実施するかはスタッフ内で検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修を周知し適時参加している		今後も研修参加の機会を設ける
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	本人、家族のニーズを確認、スタッフ間で検討、支援計画に反映	(はい41、どちらともいえない3、いいえ0、わからない0)	現状を継続する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の活動(学習等)に関する目標と、集団活動(コミュニケーション等)に関する目標を設定した支援計画を作成	(はい40、どちらともいえない3、いいえ0、わからない1)	現状を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別の活動と集団の活動、それぞれの目標に対しての支援内容を記載		現状を継続する
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画など子供に関する情報をどのスタッフも確認できる状態にしている また事前のミーティングでポイントを確認する	(はい42、どちらともいえない2、いいえ0、わからない0)	現状を継続する
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	正社員MTで内容を検討 検討した内容を非常勤を含めたスタッフ全員に周知		現状を継続する
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご利用家族からの相談があった時には、適時対応		現状を継続する
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	夏休みなどの長期休暇は別途、企画 クリスマスなどの季節を感じる行事は内容を検討して実施 コロナ禍の為内容については十分注意する	(はい33、どちらともいえない4、いいえ1、わからない6)	今後も継続する
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日利用の子どもの申し送りや送迎車両が到着する時間などをミーティングで確認		今後も継続する
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	子どもが帰宅後にミーティングを実施し、その日の特記事項、家族からの要望、連絡帳のコメントを共有		今後も継続する
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	正社員のみで前日の振り返りと1週間前の様子と当日の注意事項を共有 非常勤スタッフを含めた全体ミーティング前に、共有する内容を確認する		今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	9月末と3月末にモニタリングと計画の見直し、モニタリングの為に会議を実施		今後も継続する
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて主として担当をしているスタッフを加えて参加	今後も継続する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	利用されている子がいない	必要となった時検討をする
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	利用されている子がいない	必要となった時検討をする
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	過去に依頼なかったため実施していない 我々からも依頼をすることはなかった	必要に応じて対応をする
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	過去、情報提供をする機会はなかった	家族に可能であることを周知し、情報提供を希望された場合は協力をする
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市内の事業所連絡会に児発管が参加 研修会は非常勤を含め全員が参加できるように社内に掲示 必要に応じてスタッフを指名し参加を促す	今後も継続する
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していない	・高校受験の時は高校生と、大学進学考えている今は大学生の方と話せる機会をいただけてありがたいと思います (はい2、どちらともいえない14、いいえ8、わからない20)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所として企画した行事はなし 今年はコロナ禍の影響の為、地域のイベントが実施されていない為参加できていない		地域のイベントには参加していきたいが、コロナ禍の中の状況を踏まえて参加を検討する
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書にそって説明をしている	(はい43、どちらともいえない1、いいえ0、わからない0)	今後も継続する
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談の時に支援内容を説明している	(はい42、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1)	今後も継続する
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在まで企画、実施等は無し	・コロナで大変とは思いますがしてほしいです (はい15、どちらともいえない9、いいえ6、わからない14)	事業所内で実施が可能か検討をする
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送り迎えで家族が来所された時、様子をお伝えしているとともに、家族からの要望も確認 必要に応じて面談も実施	・コロナで大変とは思いますがしてほしいです (はい40、どちらともいえない4、いいえ0、わからない0)	今後も継続する
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	家族からの相談に対して個別に対応 定期的に面談を実施	・コロナで大変とは思いますがしてほしいです ・もう少し回数が増えるとありがたいです (はい35、どちらともいえない5、いいえ1、わからない3)	今後も継続する
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会、保護者会なし	(はい6、どちらともいえない12、いいえ10、わからない16)	保護者を対象とした成人の事業所見学会を年明けに企画予定
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所内に苦情受付窓口をを設置 苦情を受け付けた際は、運営規定に沿って対応する (現時点で苦情受付件数0件)	・特に苦情がなく機会がなかったので… (はい28、どちらともいえない3、いいえ0、わからない13)	苦情受付窓口の周知とともに、苦情があった時は真摯に対応をする
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵や写真を使用しその子どもに応じたオリジナルの意思伝達のツールを作成	(はい41、どちらともいえない2、いいえ0、わからない1)	今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	日曜教室だよりを発行(毎月) 避難訓練や長期休暇中のイベントについてはその都度プリントにてお知らせ 警報による開所の状況や緊急事態宣言中の開所時間はホームページの「緊急速報」を使って案内	(はい33、どちらともいえない2、いいえ1、わからない8)	今後も継続する
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	ご利用のお子様については、個人情報使用に関する同意書を保護者取り交わしている 社員には秘密保持に関する誓約書を入社時に取り交わしている	(はい39、どちらともいえない0、いいえ0、わからない5)	今後も継続する
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアル(感染症、危機管理)を作成し運用中。警報発令時の対応については子供用の連絡帳にプリントを添付	(はい39、どちらともいえない2、いいえ0、わからない3)	引き続き周知徹底をする
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練(うち1回は総合訓練)と1月にシェイクアウト訓練を実施予定 保護者とは防災用のメール訓練を年1回実施	(はい33、どちらともいえない2、いいえ2、わからない7)	年3回の訓練を継続する
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止・虐待時対応マニュアルを作成、運用中 支援員全員にむけて「虐待防止チェックリスト」をつかって自己評価を実施		チェックリストを使っての自己評価結果は集計、結果は所内で検討
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	支援計画に身体拘束に関する内容を記載		今後も身体拘束をしない
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	支援計画にアレルギーに関する対応についての項目を追加し、家族にも確認をしていた		今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットは法人内の児発管で毎月共有 大きな事例の場合は事業所内の会議でスタッフに共有		今後も法人内の事業所の事例を事業所内で共有をする

58世帯配布、44世帯回収